令和４年度つくば市社会福祉協議会事業報告の概要

新型コロナウイルス感染症の長期化は、人々の暮らしや地域社会に大きな影響を及ぼし、生活困窮や社会的孤立などの福祉課題の深刻化が増しました。
本会が実施する事業においても引き続き制限を受ける１年となりましたが、感染防止対策を講じつつ、それぞれに対応した方法により事業を推進しました。

このような状況のなか、休業や失業により経済的な影響を受けた生活困窮世帯に対する生活福祉資金特例貸付は、10 回に及ぶ受付期間の延長を経て令和 4 年 9 月末をもって終了しましたが、生活困窮者自立相談支援事業における自立支援金や住居確保給付金等への対応、本会自主事業である小口資金貸付や食料支援が迅速に活用されるよう取り組みました。今後は、このような事業を通じて顕在化した生活困窮者について、それぞれの状況に応じたフォローアップ支援を実施してまいります。

地域福祉の推進においては、7 つの日常生活圏域に配置する生活支援コーディネーターが、地域住民による支えあいの仕組みづくりについて関係機関や民生委員、地域との連携・協力により支援活動を行い、市内 27 の地域での支えあい活動の取り組みに関わることができました。このような住民主体の活動を推進するため、本会の新規事業として「つくちゃん地域支えあい助成金」を創設し、11 の団体に助成金を交付し、活動を側面的に支援してまいりました。

加えて、成年後見センターにおいては、福祉サービスの情報提供や日常生活自立支援事業の利用促進を図り、認知症高齢者や障害者等の権利擁護や福祉サービスの利用支援を実施してまいりました。

このように本会は、地域福祉の総合的な推進役としての役割や使命を踏まえ、多様な主体との連携のもと、基本理念である「地域で支えあい、誰もが安心し自分らしく生きる福祉のまちづくり」の実現に、今後も取り組んでまいります。

以下、令和４年度の具体的事業について、事業区分ごとに御報告いたします。

※予算額は、補正予算・流用を反映した額。[　] 内は、令和３年度末の実績。	
法人運営事業	予算額(円) 決算額(円)
1 法人運営事業（自主事業）	3,939,000 2,801,970
(1) 理事会・評議員会の開催 ● 理事会は、意思決定機関として、業務執行の決定、理事の職務執行の監督等を行なった。 第 1 回　R4.4.18 （議案第 1 号）第 4 次つくば市地域福祉活動計画の承認について 第 2 回　R4.6.8 （議案第 1 号）令和 3 年度事業報告について （議案第 2 号）令和 3 年度決算報告について （議案第 3 号）諸規程の制定及び一部改正について （議案第 4 号）評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者及び評議員選任・解任委員会の開催について （議案第 5 号）令和 4 年度第 1 回評議員会（定時評議員会）の招集事項について （議案第 6 号）職員給与規程の一部改正について （報告第 1 号）会長専決事項の報告について 第 3 回　R4.12.8 書面決議 （議案第 1 号）令和 4 年度資金収支第 6 次補正予算について （議案第 2 号）つくば市福祉支援センターやたべ業務委託公募型プロポーザルの参加表明及び応募申込について （議案第 3 号）評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者及び評議員選任・解任委員会の開催について （議案第 4 号）令和 4 年度第 2 回評議員会の提案事項について （報告第 1 号）会長専決事項の報告について （報告第 2 号）つくば市市民研修センター指定管理者公募の申請について （報告第 3 号）つくば市茎崎地域包括支援センター事業委託公募型プロポーザルの応募申込について （報告第 4 号）会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について 第 4 回　R5.3.16 （議案第 1 号）令和 5 年度事業計画について （議案第 2 号）令和 5 年度資金収支予算について （議案第 3 号）本会定款の一部改正について （議案第 4 号）本会諸規程の一部改正について （議案第 5 号）評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者及び評議員選任・解任委員会の開催について （議案第 6 号）第三者委員の選任について （議案第 7 号）役員等賠償責任保険の加入について （議案第 8 号）小口資金貸付事業の欠損金の処分について （議案第 9 号）令和 4 年度第 3 回評議員会の提案事項について （議案第 10 号）介護事業嘱託職員給与規程の一部改正について （報告第 1 号）つくば市指定管理施設及び各種業務委託の応募結果報告について （報告第 2 号）皆川重兵衛福祉基金遺贈金活用委員会の報告について （報告第 3 号）新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯を対象とした各種事業について	

● 評議員会は、議決機関として法人運営の基本ルール・体制の決定と、事後的な監督を行なった。 第1回　R4.6.24 （議案第1号）令和3年度事業報告について （議案第2号）令和3年度決算報告について （報告第1号）会長専決事項の報告について （報告第2号）第4次つくば市地域福祉活動計画について 第2回　R4.12.23 書面決議 （議案第1号）令和4年度資金収支第6次補正予算について （報告第1号）会長専決事項の報告について （報告第2号）つくば市市民研修センター指定管理者公募の申請について （報告第3号）つくば市茎崎地域包括支援センター事業委託公募型プロポーザルの応募申込について （報告第4号）つくば市福祉支援センターやたべ業務委託公募型プロポーザルの参加表明及び応募申込について 第3回　R5.3.23 （議案第1号）令和5年度事業計画について （議案第2号）令和5年度資金収支予算について （議案第3号）本会定款の一部改正について （議案第4号）理事の選任について （報告第1号）つくば市指定管理施設及び各種業務委託の応募結果報告について （報告第2号）新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯を対象とした各種事業について (2) 監査の実施・情報公開 ● 事業の健全経営や透明性を図るため、本会監事2名による監査を実施した。 令和3年会計年度業務及び決算監査 R4.5.16 令和4年度上半期業務及び会計監査 R4.11.21 ● 所轄庁（つくば市）を通し、社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムへ現況報告書や計算書類の法人に関する情報の公表を行なった。 (3) 評議員選任･解任委員会の開催 本会の評議員の選任について、審議した。委員：4名 第1回 R4.6.9：5名選任（区長会2名、施設1名、行政機関2名） 第2回 R4.12.15：2名選任（民協2名） 第3回 R5.3.20：3名選任（市議会1名、商工会1名、民協1名） (4) 遺贈金活用委員会の開催 皆川重兵衛福祉基金の活用について、故人の遺志に沿った適切な活用方策や今後の方針について審議した。 開催日 R5.2.24　委員7名出席 児童養護施設等・里親家庭児童入学祝金等支給事業、地域見守りネットワーク事業、生活困窮世帯子ども支援事業の活用について (5) つくば市区会連合会への業務委託 社協会費や共同募金の募集、広報紙等を区会加入世帯へ配布するにあたり、業務を委託した。配布等10回依頼	

2 管理運営事業（自主事業）	194,821,000 188,606,059

(1) 財務管理の実施、各種財源の確保・運用

会費や寄付金、共同募金等の自主財源のほか、市や茨城県社協からの事業委託金や補助金、介護保険・自立支援事業における収入など、法人全体としての財源の確保に努め、適正な経営管理を行った。

(2) 労務管理の実施

ア 各種法令に基づき、本会諸規程の改正等を実施した。

イ 人事評価の実施　組織全体の士気高揚や業務能率の向上につなげるため、「人事評価実施マニュアル」に基づき、年間を通して人事評価を実施した。対象職員：36 名

ウ 各種研修への参加

- 全国社協、茨城県社協が主催する、各種分野別研修に参加した。
- 介護支援専門員、障害者相談支援専門員等の資格更新研修及び資格取得に参加した。

エ 職員採用試験の実施

法人の事業継続性を維持するため、正規職員の採用試験を実施した。

採用期日：令和 4 年 10 月 1 日　結果：採用者 2 名

採用期日：令和 5 年 4 月 1 日　結果：採用者 5 名

オ 職員衛生管理の実施

（ア）職員定期健康診断の実施

正規職員・臨時職員・介護事業職員の健康診断

（イ）産業医による職場内巡視・面接相談（指導）の実施

労働安全衛生法に基づき産業医を選任し、職場内巡視や職員の健康診断結果を基に助言指導を行った。

（ウ）職員ストレスチェックの実施

労働安全衛生法に基づき、職員に対しストレスチェックを実施した。対象：47 名（所定労働時間以上の臨時職員等を含む）

（エ）新型コロナウイルス感染症対策　窓口等の消毒等を実施した。

(3) 福祉分野の資格取得の推進

従事する者の知識・技術力のレベルアップを図り、法人としてより一層の地域福祉の推進を図るため、職員の資格取得（または更新）を支援した。

【資格保有者】

資格	人数※
社会福祉主事	34 名［33 名］
社会福祉士	20 名［18 名］
介護支援専門員	15 名［15 名］
障害者相談支援専門員	13 名［13 名］
主任介護支援専門員	6 名［ 6 名］
介護福祉士	3 名［ 3 名］
精神保健福祉士	3 名［ 2 名］
衛生管理者	2 名［ 2 名］
社会福祉士実習指導者	4 名［ 3 名］

※ 令和 5 年 3 月 31 日現在：正規職員のみ（重複あり）

(4) 他団体主催会議等への役職員派遣

関係機関が主催する各種委員会等へ役職員を派遣し、他団体との連携を図った。

＜副会長兼常務理事＞
茨城県社会福祉協議会 評議員、茨城県共同募金会 理事、茨城県つくば保健医療福祉協議会 委員、つくば市高齢者福祉推進会議 委員　等
＜事務局長＞
つくば市地域包括支援センター運営協議会 委員、まつりつくば運営実行委員会 委員

3 寄付配分事業（自主事業）　1,698,000　1,839,612

（1）市民から寄せられる寄付金品等の有効かつ適正な運用を図った。

区分	受入件数	受入金額・品目
寄 付 金	27 件　[34 件]	739,946 円 [1,095,905 円]
物品寄付	20 件　[33 件]	タオル等
食料寄付	100 件 [132 件]	4244.6 ㌔（米等）[5,379 ㌔]

（2）配分先
ア 歳末たすけあい見舞金配分世帯で希望した世帯を対象にした配分

配分世帯数	配分した量
72 世帯 [66 世帯]	780 ㌔ [710 ㌔]

イ 生活困窮援助物資支給事業の申請をした世帯へ配分（支援）した。

配分件数	支援した量
263 件 [254 件]	2,931 ㌔ [3391.8 ㌔]

4 企画広報事業（自主事業）　2,023,000　1,850,548

(1) 広報紙の発行
ア 地域福祉に関する普及・啓発をするために、「社協通信つくば」を発行し、情報提供を行う。生活支援体制整備事業における情報紙「ささえあい・つくば」と共同発行した。
- 年 4 回発行（1 回に付き 52,500 部発行）
- 配布方法　区会加入世帯へ全戸配布、市内公共機関等へ配布。
- 視覚障害者の希望者へ音訳（朗読）版、点字版の提供

区分	利用者数	作成協力
音訳版	6 名 [6 名]	つくば朗読ボランティア「けやきの会」
点字版	2 名 [2 名]	並木点訳の会

- 広報紙発行日・掲載内容

111 号　R4.5.16 成年後見制度について・寄付報告等・ささえあいつくば（第 8 号）
112 号　R4.8.1 福祉体験教室について・寄付報告等・ささえあいつくば（第 9 号）
113 号　R4.11.15 赤い羽根共同募金運動・寄付報告等・ささえあいつくば（第 10 号）
114 号　R5.2.15 茗溪学園赤い羽根プロジェクト･寄付報告等･ささえあいつくば(第 11 号)

イ つくば市区会連合会への業務委託（再掲）
社協会費や共同募金の募集、広報紙等を区会加入世帯へ配布するにあたり、業務を委託した。配布等 10 回依頼
(2) ホームページによる情報提供
社協事業の紹介や案内のほか、イベントや各種講座情報等を随時更新し、情報を発信した。

種別	ＰＣ版	スマートフォン版	合計
アクセス数	19,834 件 ［17,291 件］	8,443 件 ［11,794 件］	28,277 件 ［29,085 件］

● facebook による情報発信
イベントなどの開催状況等を市民等に対して迅速に提供するため、facebook を利用し随時情報提供を行った。

(3) マスコットキャラクターの活用
マスコットキャラクター「つくちゃん」をプリントしたエコバックを作成した。

(4) 第 4 次地域福祉活動計画の推進
「地域で支えあい、誰もが安心し自分らしく生きる福祉のまちづくり」を基本理念とし、各種事業に取り組み地域福祉を推進した。

5 会員募集事業（自主事業）　1,087,000
668,619

住民主体の理念に基づき、地域福祉の推進と事業の自主性を高めるために、社協事業の啓発や本会活動の周知を行い、会員の加入促進を図った。

(1) 一般会費（年額）1 世帯 500 円　募集期間：R4.7.1～12.28
募集方法：つくば市区会連合会との契約により各戸へ募集

(2)特別会費（年額）個人会員 3,000 円以上、（年額）団体会員 10,000 円以上
募集期間：R4.7.1～8.30　募集方法：ダイレクトメール方式

(3) 協賛実績

区分	件数	金額
一般会費	433 区会［440 区会］	11,922,083 円［11,946,100 円］
特別会費	504 件　［553 件］	4,685,620 円　［4,888,000 円］
賛助会費	1 件　［2 件］	1,000 円　［2,000 円］
合計		16,608,703 円［16,836,100 円］

その他

(1) ソーシャルワーク実習における実習生の受け入れ
社会福祉士を目指す学生に対し、福祉人材育成の一環として実習の場を提供した。
● 受入人数：2 名（大学 3 年生、4 年生）
● 受入期間：令和 4 年 8 月 1 日～9 月 8 日（24 日間・180 時間）

ア 地域福祉の現場見学等の受入れ
地域・在宅看護論実習として、看護学生等の実習の場を提供した。
● 3 機関：55 名

(2) 他団体が主催する会議等へ役職員を派遣した。（管理運営事業に掲載）

(3) 後援名義使用の許可
市内団体等が主催する社会福祉を目的とした事業に対し、法人として後援名義の使用を許可した。許可団体：3 団体

(4) 茨城県社会福祉大会における表彰
社会福祉の進展に資するため、社会福祉事業に功労のあった方や社会福祉活動が優秀な団体等に対し、茨城県知事及び茨城県社協会長が表彰等を行った。
● 県知事表彰：46 名（社会福祉施設職員、民生委員児童委員）
14 団体（ボランティア団体）
● 県社協会長表彰：9 名（社会福祉施設職員）

地域福祉事業	
6 地域福祉ふれあい推進事業（自主事業）	5,729,000
(1) 地域活動推進事業	4,500,996

ア 小地域福祉活動の推進

地域住民が主体となって活動し、お互いを支えあえる地域づくりを進めるため、日常生活圏域ごとに 1 名（計 7 名）の「地域活動コーディネーター」を 7 圏域に配置し、小地域福祉活動に取り組んだ。

大穂・筑波・谷田部西（本部）、豊里・桜・谷田部東（中央支所）
茎崎（南支所）

● 地域見守りネットワーク事業（皆川重兵衛福祉基金活用事業に掲載）

イ 地域交流推進事業

（ア）春まつりの開催（市民研修センター共催）：新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

（イ）茎崎ボランティア連絡会の開催

回数	人数	内容
7 回	延べ 40 名	ボランティアふれあい交流会について等

（ウ）茎崎ボランティアふれあい交流会の開催

期日	人数	内容
R5.1.20	38 名	第 1 部：障害のある人とケアする人の防災を学ぶ 第 2 部：地域で防災に取り組むモデル地区紹介

ウ 地域支えあいサポーターの活動

生活支援体制整備事業の推進のため、生活支援コーディネーターの相談役として委嘱した。

人数	15 名［11 名］

エ 地域福祉出前講座

市内の区会や団体など 10 人以上のグループから依頼を受け、社協事業や福祉に関する講座を開催した。

期日	人数（団体）	内容
R4.11.14	19 名（サロンゆうゆう）	ケアマネジャーの仕事と役割
R5.1.23	15 名（サロンゆうゆう）	成年後見制度について

(2) ふれあいサロン事業

高齢者や障害者、子育て世帯などが気軽に参加し、地域住民と交流できる場としてのサロン活動支援及び運営経費の一部を助成した。

● 登録サロン

地区	大穂	豊里	谷田部東	谷田部西	桜	筑波	茎崎	合計
サロン数	7 ［8］	5 ［4］	18 ［20］	12 ［13］	14 ［15］	14 ［14］	14 ［16］	84 ［90］

● 助成金

助成サロン数	79［73］
助 成 金 額	1,786,000 円［1,316,000 円］

(3)（新規）地域福祉アドバイザーの設置

社協の地域福祉事業全般にわたる指導・助言をいただき地域活動、各種会議や活動支援、会議のファシリテーションの技術を学んだ。

年 10 回実施

地域福祉アドバイザー：田園調布学園大学　教授　和　秀俊 氏

7（新規）つくちゃん地域支えあい助成事業（自主事業）	781,000 368,620

地域で孤立しがちな高齢者等の見守り、地域の交流の場づくり、困りごとを抱えた住民を対象とした生活支援等の支えあい活動を住民主体で実施する活動に対し、助成金を交付し支援した。

区分	助成数	金額
地域支えあい活動立ち上げ事業助成（上限 50,000 円）	6 団体	300,000 円
地域支えあい活動運営事業助成（上限 30,000 円）	1 団体	30,000 円
ミニふれあいサロン事業助成	4 団体	36,000 円

8 まつりつくば「ふれあい広場」の運営（市一部補助事業）	3,000 2,167

新型コロナウイルス感染症の影響により、主催者の実行委員会の判断により中止となった。※参加予定の福祉団体へ中止の通知を発送した。

9 日常生活自立支援事業（茨城県社協受託事業）	3,688,000 3,595,696

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等の必要な支援を行った。

（1） 実施体制：専門員 7 名、生活支援員 18 名
（2） 実施サービス：福祉サービス利用手続き及び日常的な金銭管理の援助、書類預かり
（3） 利用料…1,100 円/時間（生活保護受給者は免除）
（4） 書類預かり 500 円/月
（5） 契約者数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
契約者	14 名 ［15 名］	6 名 ［4 名］	10 名 ［9 名］	30 名 ［28 名］

（6） 相談援助実績

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	不明・その他※	合計
件数	1,523 件 ［1,537 件］	512 件 ［351 件］	1,552 件 ［ 1,092 件］	77 件 ［0 件］	3,683 件 ［2,980 件］

※「不明・その他」は、相談時に利用者区分が確定していない方

10 あんしん生活支援サービス事業	276,000 105,750

認知症等のため判断能力が低下して生活に支障が生じた場合に備え、定期訪問や個別サービスを行う「見守り契約、財産管理契約」、亡くなった後のご本人の希望を実現する「死後事務委任契約」について、判断能力が低下した時に支援する 「任意後見契約」とパッケージで提供した。

契約者	2 名［1 名］

高齢福祉事業	
11 老人福祉センターとよさと管理運営（自主事業）	2,801,000 2,535,143

（1） 社協独自の建物である「老人福祉センターとよさと」は、高齢者からの各種相談に応じる他、社協中央支所の拠点として、社協事業やシルバークラブへの支援等を行なった。

区分	利用者数
ホール等貸出し	3,716 名［1,936 名］

（2）第 19 回とよさと子どもまつりの開催 新型コロナウイルス感染症の影響により、実行委員会の判断により中止とした。	

障害者福祉事業	
12 障害者ふれあい推進事業（自主事業）	245,000 177,472
みんなで Do!スポーツ 知的障害者を対象としてスポーツ等を実施し、心身のリフレッシュを図るとともに、学生ボランティアとの交流を深める機会とした。 ● 期　日：第 2 日曜日 ● 回　数：11 回 ● 場所等：大穂体育館、オンライン形式 ● 登録者：24 名　延べ参加者 189 名 ● 内　容：バドミントン、ボッチャ、モルック、フライングディスク等 ● 協　力：知的障害者スポーツ支援 スポーティア（筑波大学学生ボランティア団体）	

児童福祉事業	
13 児童ふれあい推進事業（自主事業）	136,000 63,220

おもちゃライブラリー
新型コロナウイルス感染症の影響により、通常月 2 回の開催は中止したが、イベントは実施した。また、おもちゃの貸し出しや、おもちゃドクターによる無償のおもちゃ修理については行なった。
運営協力：おもちゃライブラリーさくらんぼ、おもちゃ病院さくらんぼ

内容	回数等	利用者数
ミニイベント R4.7.23 R5.2.25	・スカイシャトルを作ろう ・ストロー輪ゴム鉄砲を作ろう	65 名 62 名
おもちゃの貸し出し 修理	21 回 ［13 回］	1,034 名 ［513 名］

ボランティアセンター管理運営事業	
14 ボランティアセンター管理運営事業（市一部受託･自主事業）	13,115,000 12,425,565

(1) 管理運営事業
市民による自主的な活動を支援するため、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア登録受付及び活動に関する相談と紹介を行なった。ボランティアセンター運営委員会を開催した。

ア　ボランティア登録受付

区分	登録者数
団体登録	157 団体：4,781 名［152 団体　5,025 名］
個人登録	135 名［138 名］

イ　ボランティア相談受付・需給調整

区分	活動依頼	活動希望	講座等照会	情報照会	登録保険加入	活動上の悩み	物品寄付	機材貸出	合計
件数	162 ［34］	183 ［103］	1,110 ［991］	2,117 ［1,384］	529 ［687］	33 ［1］	60 ［55］	42 ［27］	4,236 ［3,282］

ウ　ボランティアセンター設備管理

設備	会議室	ミーティングコーナー	防音室	作業コーナー	合計
利用者数	3,826 名 [3,176 名]	883 名 [576 名]	215 名 [109 名]	158 名 [116 名]	5,082 名 [3,977 名]

エ　ボランティアセンター運営委員会

つくばボランティアセンターが実施するボランティア・市民活動推進のための事業等を審議するため、運営委員会を開催した。

期日	内容
第 1 回　R4.7.26	● R3 ボランティアセンター事業報告 ● R4 ボランティア団体活動助成金配分審査 ● R4 ボランティア登録の承認
第 2 回　R4.12.8	● R4 ボランティア登録の承認 ● 研修：つくばｽﾀｲﾙ科の取組み ● その他：福祉教育の状況
第 3 回　R5.3.22	● R4 ボランティア登録の承認 ● R4 ボランティア情報の周知及び啓発活動の取組み報告 ● 2023 版つくばｽﾀｲﾙ科単元プラン情報掲載内容報告

(2) ボランティア育成・支援・研修事業

ア　福祉体験教室の実施

主な体験内容：目の不自由な人のガイドの仕方、高齢者疑似体験等

期日	内容
R4.7.11 、 9.12 、 R5.2.2	学校：秀峰筑波義務教育学校福祉委員会 参加者：延べ 121 名
R4.10.19	団体：つくば市教育研究会幼児教育研究部 参加者：23 名
R4.10.21、11.18 R5.3.10	学校：真瀬小学校 3 学年 参加者：延べ 52 名
R4.11.14	団体：サロンゆうゆう 参加者：20 名
R5.1.20	学校：吾妻小学校 3 学年 参加者：107 名

イ　青少年ボランティア体験講座

（ア）知っちゃおうツアー

期日	内容
R4.8.19	対象：小学生 参加者：43 名 内容：手話でコミュニケーション 福祉のマークと車いすの使い方
R4.8.25	対象：小学生 参加者：45 名 内容：みんなで楽しめるスポーツ(モルック) 点字と盲導犬

（イ）青少年ボランティア体験講座/中高生 学校：筑波高校２年、茗溪学園高校１年、春日義務教育学校 実施回数：全 16 回［8 回］ 参加者：延べ 680 名［延べ 295 名］ ウ　地域イベントでの啓発活動 R4.5.22、11.20　花畑 Flow マーケット R5.2.12　田中地区防災キャンプ エ　市民ボランティア育成講座 （ア）良い聴き手となるための傾聴講座 R5.1.27、2.3（全 2 回）参加者：30 名［オンデマンド型 31 名］ （イ）人と人との交流を繋げるオンライン講座 R4.10.25、11.1（全 2 回）参加者：9 名［オンライン 12 名］ オ　高齢者・障害者のためのパソコン相談 期日：第 1・第 3 土曜 相談者：延べ 152 名［延べ 198 名］ ボランティア（つくばパソコンボランティアサークル）：延べ 192 名 (3) ボランティアネットワーク支援 ア つくば市ボランティア連絡協議会活動支援 （ア）ボランティア活動団体情報マップの作成 ● 発行　R4.8（5,000 部） ● 情報提供　124 団体 ● 配布先　公共機関、郵便局、銀行、商業施設、イベント配布　等 （イ）ボランティア登録団体紹介展示 ● 期間　R4.10～R5.2 ● 場所　つくば市役所、都市交通センタープラザ・パフォーマンス・　ギャラリー、茎崎交流センター、市民ホールつくばね ● 協力団体数　69 団体 （ウ）総会 R4.5.13　つくば市ボランティア連絡協議会総会を開催し終了後、情報交換会を実施した。 （エ）世話人会 R4. 4～R5.3「世話人会」ボランティア活動の周知、啓発事業の企画・検討を行なった。 ● 実施回数：12 回［9 回］ （オ）会報の発行 ボランティア連絡協議会の取り組みを会員へ伝える手段として発行した。 ● 発行　R4.12 ● 発送　ボランティア登録団体（152 団体）、登録者（65 名） (4) ボランティア活動基盤整備事業 ア ボランティア活動保険の取り扱い 保険概要　対象：日本国内における自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動 内容：基本プラン（年間保険料 350 円） 天災・地震補償プラン（年間保険料 500 円）	

イ　加入人数

プラン	基本	天災・地震補償	特定	合計
人数	2,772 名 [2,907 名]	169 名 [159 名]	64 R3 設定なし	3,005 [3,066]

ウ　事故対応

件数：4 件（すべて傷害事故）

エ　ボランティア団体活動費助成

- 対象　①つくばボランティアセンター登録団体
  ②アイラブつくばまちづくり補助金並びに茨城県ボランティア市民活動推進事業費助成金、つくちゃん地域支えあい助成金を受けていない事業
  ③つくば市民を対象とした事業　等
- 助成金　1 団体につき上限 50,000 円（対象経費の 80%以内）
- 募集期間　R4.6.13～27
- 助成実績

団体数	助成額
15 団体［20 団体］	544,000 円［590,288 円］

オ　福祉機材貸出

品目	件数	延べ貸出数
高齢者疑似体験セット	18 件［16 件］	681 セット［508 セット］
プロジェクター・スクリーン	3 件　［5 件］	5 セット［5 セット］
白杖	3 件　［2 件］	17 本［11 本］
車いす	11 件　［3 件］	83 台［21 台］
点字器・点筆	2 件［0 件］	38 セット［0］
磁気ループ・ピンマイク	1 件［0 件］	1 セット［0］

(5) 広報事業

ホームページやボランティア NEWS（年 3 回発行）により最新情報を迅速に、かつ多様な市民に情報提供を行なった。

情報発信（HP、ボランティアセンターNEWS の発行）

No.86：R4.5.25 発行

No.87：R4.10.7 発行

No.88：R5.3.1 発行

発行部数：各号約 1,200 部

主な配布先：ボランティア登録団体・登録者 、地域交流センター
市内郵便局、市内医療機関（総合病院）

(6) 災害ボランティアセンター設置運営訓練

災害が発生した時に備え、災害ボランティア受入体制整備のため、「災害ボランティアセンター」の設置・運営訓練を行なった。

期日	内容
R4.11.22・29	参加職員：32 名 普通救命講習：心肺蘇生と AED の手順、止血法等

共同募金配分金事業

募金実績

募金種別	募金額
赤い羽根共同募金（一般募金）	13,048,958 円［13,830,404 円］
地域歳末たすけあい募金	6,946,452 円　［6,937,253 円］
合計	19,995,410 円［20,767,657 円］

15 一般募金配分事業（共同募金配分事業）　5,519,000　5,519,404

前年度（令和 3 年度）募金実績に基づく茨城県共同募金会からの配分金を、本会が実施する各種事業に配分し、地域福祉の推進を図るとともに募金を広く市民に還元した。

事業名	主な内容
法人運営事業	印刷物区会配布回覧業務委託
地域福祉ふれあい推進事業	地域活動推進事業 ふれあいサロン事業
つくちゃん地域支えあい助成事業	地域支えあい活動立ち上げ事業助成等
老人福祉センターとよさと管理運営	施設の管理運営
障害者ふれあい推進事業	みんなで Do！スポーツ
児童ふれあい推進事業	おもちゃライブラリー
ボランティアセンター運営事業	団体助成等
地域見守りネットワーク事業	ふれあい相談員の設置

16 地域歳末たすけあい募金助成事業（共同募金配分事業）　9,804,000　8,429,850

共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉施設等関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、支援を行った。

- 地域歳末たすけあい募金配分委員会の開催 委員：8 名

期日	内容
R4.10.26	地域歳末助けあい事業助成申請事業の決定について
R4.11.29	支援を必要とする世帯への歳末見舞金の配分について 1 世帯あたりの歳末見舞金の配分金額（案）について

(1) 支援を必要とする世帯等に対する配分

ア 見舞金の配分

対象：世帯全員の市民税が非課税で市内に 6 か月以上居住する世帯で、下記の区分に該当する要支援世帯

申請：自己申請方式

配分額：1 世帯あたり 10,000 円

区分	世帯数	見舞金額
満 65 歳以上のひとり暮らし高齢者	125 世帯 ［131 世帯］	1,250,000 円 ［1,310,000 円］
準要保護児童生徒世帯（小学 6 年生のいる世帯）	44 世帯 ［39 世帯］	440,000 円 ［390,000 円］
重度障害者（児）のいる世帯（身体障害者手帳 1・2 級、療育手帳マルＡ・Ａ、精神保健福祉手帳 1 級）	15 世帯 ［21 世帯］	150,000 円 ［210,000 円］

満 65 歳以上で要介護 3 以上の認定を受けている寝たきり高齢者・認知症高齢者のいる世帯	2 世帯 [1 世帯]	20,000 円 [10,000 円]
合計	186 世帯 [192 世帯]	1,860,000 円 [1,920,000 円]

イ 食料の支援（※歳末たすけあい見舞金配分世帯を対象にした支援）
寄付で受入れした精米を、希望した支援を必要とする世帯へ配分した。

配分世帯数	配分した量
72 世帯［66 世帯］	780 ㌔［710 ㌔］

ウ 「歳末地域たすけあい事業助成」の実施
11 月 1 日から翌年の 1 月 15 日までを開催期間とし、人と人とがふれあう機会をつくり、交流を深めることを目的とした事業を実施する団体に対し、公募により助成を行った。(1 団体あたり上限 50,000 円)

助成団体数	助成金額
8 団体［7 団体］	287,000 円［215,000 円］

エ 本会事業への配分

事業名	主な内容
法人運営事業	法人の運営に関する業務
寄付配分事業	寄付に関する業務
企画広報事業	広報紙社協通信つくばの発行
地域福祉ふれあい推進事業	地域活動推進事業 ふれあいサロン事業
老人福祉センターとよさと管理運営	施設の管理運営
障害者ふれあい推進事業	みんなで Do!スポーツの実施
ボランティアセンター運営事業	講座開催等
地域見守りネットワーク事業	ふれあい相談員の設置

資金貸付事業

17 小口資金貸付事業（自主事業）　3,121,000
2,463,794

緊急に経済的な援護を必要とする生活困窮世帯を対象に、次の収入までの「つなぎ資金」として小口資金の貸付を行い、自立更生が図れるよう支援した。また、必要に応じて生活困窮援助物資支給事業として食糧等の支援を行った。

- 貸付実績

区分	上限額	件数	貸付額
少額資金 （保証人なし）	10,000 円	142 件 [124 件]	1,420,000 円 [1,240,000 円]
貸付金 （保証人あり）	30,000 円	1 件 [3 件]	30,000 円 [90,000 円]
合計		143 件 [127 件]	1,450,000 円 [1,330,000 円]

- 償還実績（過年度分償還額を含む）

件数	償還額
116 件［98 件］	1,068,000 円［868,000 円］

● 滞納者への督促

【督促条件：最終償還日 R3.10.31、延滞回数 1 以上、延滞月数 1 以上】

区　分	書　面	電　話	訪　問	合　計
件　数	77 件	117 件	0 件※	184 件

※新型コロナウイルス感染症の影響により訪問調査は未実施

(1) 生活困窮援助物資支給事業

市民から寄付された食料を生活困窮世帯へ支給することにより支援を行った。(再掲)

品目	件数	支援した量
米・レトルト食品等	263 件［254 件］	2,931 ㌔［3391.8 ㌔］

18 生活福祉資金貸付事業（茨城県社協受託）　9,049,000　8,278,496

低所得、障害者及び高齢者世帯の方々に、資金の貸し付けと併せて必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進、また在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に資金の貸し付けを行った。本会は申請を受付け、貸付の決定は県社協となっている。

(1) 総合支援資金：失業者等の自立のための貸し付け

区分	申請	決定	貸付金額
件数・金額	1 件［1 件］	1 件［1 件］	450,000 円 ［450,000 円］

(2) 福祉資金（福祉費）：一時的に必要になる費用を賄うための貸し付け

区分	申請	決定	貸付金額
件数・金額	2 件［0］	2 件［0］	2,883,000 円［0 円］

(3) 緊急小口資金：緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の貸し付け

区分	申請	決定	貸付金額
件数・金額	1 件［3 件］	0 件［2 件］	0［278,000 円］

(4) 教育支援費：就学に必要な費用の貸し付け

区分	申請	決定	貸付金額
件数・金額	2 件［5 件］	2 件［5 件］	3,940,000 円 ［2,331,000 円］

(5) 不動産担保型生活資金：不動産を担保にした生活費の貸し付け

申請なし

(6) 特例貸付：R4.9.30 終了

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金に悩む方々に向けた、償還免除の特例を設けた緊急小口資金等の特例貸付を実施した。

ア 緊急小口資金（特例貸付）

対象：新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

貸付上限額：200,000 円

イ 総合支援資金（特例貸付）

対象：新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

貸付上限額：［二人以上世帯］月 200,000 円［単身世帯］月 150,000 円

種別	申請	申請額
緊急小口資金 （特例貸付）	164 件 ［期間合計 2,080 件］	32,050,000 円 ［期間合計 395,840,000 円］
総合支援資金 （特例貸付）	116 件 ［期間合計 2,103 件］	60,000,000 円 ［期間合計 1,100,770,000 円］
合　計	280 件 ［期間合計 4,183 件］	92,050,000 円 ［期間合計 1,496,610,000 円］

皆川重兵衛福祉基金活用事業

平成 19 年 8 月に故皆川重兵衛氏より、１億 685 万 348 円の遺贈があり、本会では遺贈金を原資とした「皆川重兵衛福祉基金」を設立し、遺志に基づき遺贈金を活用し、支援を行なった。

19 児童養護施設等・里親家庭児童入学祝金等支給事業（自主事業）　1,000,000　700,000

児童養護施設・里親家庭に養育委託されている入所時につくば市に住所を有していた児童を対象として、義務教育修了後に高校・大学・短期大学・専門学校等に進学する際、又は卒業後就職を予定している児童に祝金の支給を行い、児童の健全育成と社会的自立を支援した。

- 支給額

入学祝金(義務教育修了後、高等学校卒業後に進学)1 名あたり 100,000 円
卒業祝金(義務教育修了後、高等学校卒業後に就職)1 名あたり 200,000 円

区分	人数	金額
入学祝金	1 名［5 名］	100,000 円　［500,000 円］
卒業祝金	3 名［3 名］	600,000 円　［600,000 円］
合計	4 名［8 名］	700,000 円［1,100,000 円］

20 地域見守りネットワーク事業（自主事業）　2,739,000　2,299,723

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けられるように、地域住民による助けあい活動や支えあい活動を推進し、地域住民が行政・民間事業所及び福祉関係者と協力、連携しながら、見守りが必要な方に対し地域で見守ることのできる仕組みづくりを進める。

(1) 地域の見守りチームづくり事業

ア ふれあい相談員の設置　R5.3.31 現在

圏域	人数
大穂	25 名［26 名］
豊里	19 名［20 名］
谷田部西	23 名［26 名］
谷田部東	16 名［18 名］
桜	14 名［15 名］
筑波	19 名［20 名］
茎崎	13 名［13 名］
合計	129 名の内、新任 9 名［138 名］

イ 地区別ふれあい相談員懇談会の開催

ふれあい相談員の情報交換の場として圏域ごとに懇談会を開催するとともに、定期訪問として対象者の自宅を訪問し、安否確認の機会とした。

- 期日：四半期ごとに圏域別に開催した。
- 内容：現在の取り組み状況報告、ネットワーク会議（情報交換会）開催状況報告、定期訪問について、意見交換 等

ウ 見守り登録者の推進と見守りチームづくり

見守り登録者数

地区	大穂	豊里	谷田部西	谷田部東	桜	筑波	茎崎	合計
人数	40名 [38名]	61名 [61名]	59名 [57名]	55 名 [58名]	45名 [43名]	17名 [18名]	51名 [51名]	328 名 [326名]

属性

ひとり暮らし高齢者	208名（63.4%）
日中独居高齢者等	59名（17.9%）
高齢者世帯	55名（16.7%）
その他	6名（2%）

(2) 地域見守りネットワーク組織化事業

ア 地域見守りネットワーク会議の開催

イ 地域の実情に応じた単位での情報交換会の開催

見守り活動に取り組み始めた地域において、「地域見守りネットワーク会議」や地域の実情に応じ関係者を集めた「情報交換会」を開催し、地域の状況や地域課題を共有しながら、地域の見守り活動の進め方を協議した。

ウ 地域の絆フォーラムの開催

期日	内容	参加者数
R4.10.4	● 基調講演 「つながる・喜び」～コロナ禍で考える「気にかけあう地域づくり」～　酒井　保 氏 ● シンポジウム 豊里の杜ふれあいサロン代表、赤塚東ふれあいサロン代表	180名

21 生活困窮世帯子ども支援事業（自主事業）

経済的理由により生活に困窮している世帯に属する児童を対象として、他制度では出来ない緊急性を要する場合に支援金の支給を行った。

支援金：1世帯あたり上限100,000円

世帯数	支援金額	内容
7世帯［9世帯］	611,465円 ［734,581円］	中学校や高校の制服、体操着、教科書等

1,000,000
611,465

介護保険事業

1 居宅介護支援事業（自主事業）

20,444,000
21,515,994

在宅の要支援者や要介護者からの依頼を受け、介護支援専門員(ケアマネジャー)がその心身の状況や置かれている環境、本人や家族の意向などを踏まえ、利用する介護サービス(介護予防サービス)等の種類、内容などを定めたサービス計画を作成し、その計画に基づいた適切なサービス提供がされるよう、事業者や関係機関との連絡調整を行なった。

ア　実施体制

● 専従5名（常勤3名、非常勤2名)、兼務7名

イ 居宅介護サービス計画の作成

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実人数	40名 [53名]	37名 [34名]	25名 [21名]	15名 [13名]	7名 [12名]	124名 [133名]

ウ 要支援認定利用者

区分	要支援
実人数	44 名［43 名］

(1) 居宅介護支援事業所連絡会や主任介護支援専門員連絡会等の運営協力
各種連絡会へ職員が出席し、関係機関や他事業所とのネットワークの形成を図った。

(2) 研修の参加

- つくばケアマネジャー連絡会及び役員会等各種研修会 17 回
- 内部研修の開催：市連絡会等からの伝達研修、新規ケースや困難ケースに関する報告等 12 回
- 介護支援専門員の更新研修

期日	人数	開催日数
介護支援専門員更新研修Ⅱ	4 名［4 名］	8 回［7 回］

(3) 介護支援専門員実務研修の実習生受入れ

期日	受入人数
R5.2.6～27（内 3 日間）	1 名［0］

- 要介護（要支援）認定調査の実施

区分	認定調査数（市外含む）
件数	78 件［10 件］

2 訪問介護事業（自主事業）

15,764,000
17,129,299

訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、利用者がその居宅において可能な限り自立し、日常生活を営むことができるように、入浴や排泄・食事等の介助、調理や洗濯、掃除等の生活の援助を行なった。

ア 実施体制
常勤ホームヘルパー：2 名、非常勤ホームヘルパー：2 名
登録ホームヘルパー：8 名

イ 訪問介護員の派遣

- 要介護認定利用者

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
実人数	11 名 [13名]	10 名 [13名]	8 名 [5名]	1 名 [3名]	2 名 [6名]	32 名 [40名]

- 要支援認定利用者

区分	要支援 1	要支援 2	合計
実人数	3 名［6 名］	14 名［16 名］	17 名［22 名］

ウ ヘルパー会議の開催
定期的に会議を開催し、事業所内でのケース内容の共有を図った。
また、会議と同時に研修を実施し、従事者の知識や技能の向上に努めた。

- 内　容：ケース事案共有・感染症の予防知識、緊急時の対応確認
高齢者の罹患しやすい疾患等
- 実　績：9 回

障害福祉サービス事業

1 障害者ホームヘルプサービス事業（自主事業）

7,771,000
7,979,728

訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、利用者がその居宅において可能な限り自立し、日常生活を営むことができるように、入浴や排泄・食事等の介助、調理や洗濯、掃除等の生活の援助を行なった。

ア 実施体制（※訪問介護事業共通）
- 常勤ホームヘルパー　2 名
- 非常勤ホームヘルパー　2 名
- 登録ホームヘルパー　8 名

イ 訪問介護員の派遣
- 利用者

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	合計
実人数	10 名 ［11 名］	4 名 ［4 名］	16 名 ［15 名］	30 名 ［30 名］

ウ ヘルパー会議の開催※「訪問介護事業」共通

2 障害者相談支援事業（自主事業）　14,077,000　15,276,425

障害（児）者及びその家族からの相談に応じ、障害福祉サービスの利用援助や各種社会資源の活用支援、専門機関の紹介等を通じ利用者の自立した生活を支援した。

- 実施体制
  障害者相談支援専門員 3 名、兼務５名

(1) 総合相談の実施
障害者総合支援法における各種サービスの利用調整や相談対応等を行った。
- 相談件数：842 件［838 件］　延件数：2,147 件［2,138 件］

(2) サービス等利用計画の作成及びモニタリング
市がサービス等利用計画費作成対象と認めた方にケアプラン作成を行った。
- 請求件数 542 件［477 件］
- 実契約件数 201 件［207 件］
- 新規契約件数 16 件（内訳：身体 3 件、知的 7 件、精神 2 件、児童 4）
- 契約終了件数 8 件

(3) 障害支援区分認定調査の実施
- 41 件［39 件］

(4) 会議等の運営・参加協力
- つくば市自立支援協議会等運営参加協力

- 相談支援専門員現任研修

期日	人数	内容
R4.8.2～ R5.3.8 （全 7 日間）	3 名	オンデマンド講習 ・講義 ・グループワーク ・障害者ケアマネジメントの実践など

受託事業

1 住民参加型福祉サービス拡大事業（つくばさわやかサービス）（市受託）　2,491,000　2,481,067

高齢者、障害者、疾病等の事情により日常生活に支援が必要な方に対し、住民の助けあいによる家事援助などのサービスを提供することにより、在宅福祉の増進を図った。
- 利用料金：800 円（1 時間）
- 会員数

区分	協力会員	利用会員
人数	47 名［46 名］	37 名［34 名］

（1）協力会員の派遣調整

内容	清掃	食事	買い物	通院介助	外出介助	話し相手	合計
回数	683 [882]	66 [32]	48 [4]	17 [8]	16 [30]	0 [3]	830 [959]
時間	945.5 [1,209]	86 [70]	44.5 [4]	26 [15]	29 [44.5]	0 [3]	1,131 [1345.5]

（2）協力会員研修会及び情報交換会の開催

期日	内容
R4.11.8	さわやかサービス会員研修会（ファミリーサポート合同研修） 内容：イスを使ったストレッチ ～活動に向けて体を整えよう～ 参加者：1名

2 福祉相談事業（市受託）

1,878,000
1,837,536

市民の抱える様々な生活・福祉問題に対して、専門職等が相談に応じた。

（1）弁護士による法律相談（第2・3・4木曜日）
（2）司法書士による相談（第3水曜日）
（3）子育て・子どもの悩み相談（第1・3金曜日）

- 場所：社協相談室
- 相談実績

区分	回数	件数
弁護士による法律相談	36回［30回］	151件［122件］
司法書士による相談	12回［10回］	34件　［28件］
子育て･子どもの悩み相談（臨床発達心理士）	19回［18回］	27件　［28件］
合計	67回［58回］	212件［178件］

3 茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会（市受託）

1,540,000
1,470,385

上部大会である「いばらきねんりんスポーツ大会」のつくば市代表の選考会を兼ねて、ゲートボール／ペタンク／グラウンドゴルフ／輪投げの４種目を愛好する高齢者の大会「つくば市大会」を開催した。

期日	内容
5/19（大池公園野球場）	北部予選　午前　筑波、桜地区：121名 午後　大穂、豊里地区：96名
5/24（茎崎総合運動公園）	南部予選　午前　谷田部　63名 午後　茎崎　100名
6/2（茎崎総合運動公園）	つくば市大会 ペタンク・輪投げの上位2チーム、グランドゴルフ上位10名、ゲートボール1チームが県大会へ出場した。

R3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止
《県大会の結果》
県大会上位入賞者1名（グラウンドゴルフ4位）が第35回全国健康福祉祭えひめ大会（R5.10.28開催）へ出場が決定した。

4 高齢者生きがい活動支援事業（市受託）

17,671,000
14,117,947

つくば市シルバークラブ連合会事務局として、高齢者の健康づくりや生きがいづくりの支援を行うとともに、生活支援等の地域社会の担い手となるようなクラブ活動ができるよう各種取り組みを行った。

（1）　シルバークラブ大会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたため、役員功労者等顕彰事業として被顕彰者に対し、各地区運営委員長を通じて賞状・記念品等の配付を行った。

役員功労者：37 名	優良シルバークラブ：2 クラブ	協助者：2 名

（2）　シルバークラブの育成支援

ア 市シルバークラブ連合会の運営・事業実施支援

（ア）総会

期日	内容
R4.4.25	令和 3 年度事業報告及び決算報告、令和 4 年度事業計画及び予算の承認 等

（イ）役員会

回数	内容
6 回	功労者顕彰事業について、友愛訪問活動、義援金報告 等

（ウ）専門委員会

● 女性委員会

回数	内容
2 回	令和 4 年度の活動について

● 広報委員会

回数	内容
4 回	広報紙第 8 号、第 9 号発行に関する台割等

● 活動活性化委員会

回数	内容
4 回	令和 4 年度の活動について

（エ）研修事業、健康づくり及び介護予防に資する事業、社会奉仕活動
地域交流事業、教養講座等開催等

イ　各地区シルバークラブ連合会の運営・事業実施の支援

ウ　単位シルバークラブの育成・支援

市内各地区シルバークラブ連合会事務局として、年間を通して事業を実施し、会員の健康や生きがいづくり、社会貢献活動を支援した。

（ア）クラブ数・会員数（R5.3.31 現在）

地区	大穂	豊里	谷田部	桜	筑波	茎崎	合計
クラブ数	21 [22]	28 [31]	29 [29]	9 [9]	18 [18]	24 [24]	129 [133]
会員数	997 [1,066]	1,556 [1,656]	1,264 [1,242]	369 [368]	713 [726]	1,214 [1,234]	6,133 [6,292]

5 つくば市高齢者いきいきサロン事業（市受託）　5,468,000
5,337,200

ア　概ね 60 歳以上の市民を対象に、仲間づくりや生きがい活動を見つけてもらえるよう市内 4 ヵ所の会場で、歌や絵手紙、健康づくり等の誰もが自由に参加できるサロンを開催した。

メニュー：歌・民謡、太極拳、健康体操、笑いヨガ、フラダンス
絵手紙等

期日	地区	場所	登録人数	回数	延べ参加者
月曜日	豊里	老人福祉センターとよさと	52 名 [38 名]	68 回 [41 回]	597 名 [299 名]
火曜日	筑波	市民研修センター	24 名 [21 名]	34 回 [19 回]	207 名 [91 名]

水曜日	茎崎	茎崎農村高齢者交流センター	40 名 [16 名]	47 回 [24 回]	302 名 [124 名]
金曜日	大穂	大穂交流センター	19 名 [14 名]	55 回 [31 回]	180 名 [85 名]
合計			135 名 [89 名]	204 回 [115 回]	1,286 名 [599 名]

イ　地域の公民館や集会所等の身近な場所で、おおむね 10 人以上の仲間が集まり申請があった場合に、いきいきサロンの講師を派遣した。

回数	参加者	申請団体
24 回	254 名	ふれあいサロン等

6 奉仕員養成講座事業（市受託）　2,130,000

2,129,000

(1) 音訳奉仕員養成講座

視覚に障害がある方に対しての理解並びにサービス技術（音訳）を学び、地域でのボランティア活動に従事する人材の養成と、音訳を行うに必要な知識及び技術の習得を図った。

【協力】つくば市朗読ボランティア けやきの会　柳澤　由紀子 氏

期日	内容
R4.9.15～R5.2.16	回数：全 10 回　受講者：15 名（修了：11 名）

(2) 点訳奉仕員養成講座

視覚に障害がある方に対しての理解並びに点訳技術を学び、地域でのボランティア活動に従事する人材の養成と、点訳を行うに必要な知識及び技術の習得を図った。

【協力】点訳サークル あすなろの会

期日	内容
R4.10.14～12.16	回数：全 10 回　受講者：7 名（修了：5 名）

(3) 要約筆記奉仕員養成講座

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度等についての理解と認識を深めるとともに、要約筆記を行う必要な知識及び技術の習得を図った。

【協力】特定非営利活動法人 ＰＣＹ２９８

期日	内容
R4.9.8～11.24	回数：全 10 回、現場実習 1 回 受講者：8 名（修了：5 名）

7 手話奉仕員養成講座（市受託）　1,935,000

1,509,500

聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度についての理解と認識を深めるとともに、手話で日常生活を行なう技術の習得を図った。

【協　力】講師：つくば市聾者協会
助手：茨城県手話通訳者協会県南支部つくば支会

ア 入門コース（昼の部）

期日	内容
R4.7.5～R5.2.21	回数：全 30 回 受講者：15 名（修了：13 名）

イ 基礎コース（夜の部）

期日	内容
R4.7.6～R5.2.22	回数：全 30 回 受講者：11 名（修了：8 名）

8 つくば市市議会だより朗読版作成・送付事業（市受託）　165,000 / 163,261

市内の視覚障害者への情報保障として、市議会情報を発信する「市議会だより」の朗読版をボランティアの協力により作成し、配付した。

利用者	回数	作成協力
6 名	4 回	つくば音訳ボランティアの会

9「広報つくば」朗読版作成・送付事業（市受託）　420,000 / 418,807

市内の視覚障害者への情報保障として、市政情報や身近な生活情報を発信する「広報つくば」の朗読版をボランティアの協力により作成し、配付した。

利用者	回数	作成協力
8 名	12 回	つくば音訳ボランティアの会

10「かわら版」朗読版作成・送付事業（市受託）　341,000 / 339,607

市内の視覚障害者の社会参加を図るため、市民の皆さんの疑問に市長が答える身近な情報を発信する「かわら版」の音訳版をボランティアの協力により作成、視覚障害者の希望者に送付した。

利用者	回数	作成協力
8 名	12 回	つくば音訳ボランティアの会

11 チャレンジアートフェスティバル事業（市受託）　3,006,000 / 2,574,442

障害者（児）等が制作した作品の展示等を通して生きがいを高め、自立と社会参加を促進するとともに、市民の障害に対する理解を深めるために開催した。

名称：第 22 回チャレンジアートフェスティバル in つくば

ア 舞台発表

期日	発表者	来場者	場所
R5.3.4	6 団体・71 名	518 名	つくばカピオ

イ 作品展示

期日	作品数	出展者数	来場者数	場所
R5.3.7～12	331 点	35 団体・個人 2（計 802 名）	1,535 名	つくば美術館

12 つくば子育てサポートサービス事業（市受託）　9,468,000 / 9,600,893

地域において子育ての支援を受けたい方と行いたい方が会員となり、アドバイザーによる調整のもと乳幼児の保育や送迎、産後の家事援助等を行うことにより、会員相互の助けあい活動を推進した。

(1) 会員登録の受付

区分	利用会員	協力会員	利用・協力会員	合計
会員数	1,211 名 [1,156 名]	171 名 [168 名]	42 名 [41 名]	1,424 名 [1,365 名]

(2) サポート調整業務

区分	連絡調整発信	連絡調整受信	電話相談	来所相談	訪問	登録受付	合計
件数	4,486 [3,072]	3,289 [2,272]	365 [351]	329 [277]	309 [199]	185 [134]	8,963 [1,365]

ア 活動実績

区分	延べ利用者（利用会員）	延べ活動者（協力会員）	合計
人数	690 名 [512 名]	415 名 [353 名]	1,105 名 [865 名]

イ 活動

区分	回数	時間
集計	2,622［2,229 回］	7,134.5 時間［5811.5 時間］

ウ 「つくば子育てサポートサービス便り」の発行

No.	発行月	内容
第 25 号	R4.5	活動の際の確認事項等

エ サポーターニュースの発行

発行月	内容
R4.5、10 発行	サポーターニュース、研修案内

オ パンフレットの作成

新たにサービス利用に関して分かりやすく案内した、パンフレットを作成した。4,000 部作成

(3) 研修会の開催

研修名	回数・参加者
ファミリーサポート会員意見交換会	1 回　6 名［10 名］
サポーター（協力会員）研修会	16 講　延べ 137 名［11 講延べ 65 名］

13 つくば市介護支援ボランティア制度事業（市受託）

1,717,000
1,716,039

げんき応援ポイント（介護支援ボランティア制度）市内に住所を有する 65 歳以上の方を対象に、介護支援ボランティア活動を通じて地域貢献することを奨励し、高齢者自身の社会参加活動を通した介護予防を推進した。活動を行ったボランティアには、翌年活動実績に応じて,翌年度に交付金がつくば市から付与される。(上限 1 万円)

(1) ボランティア登録受付・手帳交付

区分	人数	平均年齢
登録者	64 名［79 名］	77.3 歳［77.7 歳］

ア 活動状況

区分	延べ活動者	延べ活動時間
人数・時間	46 名［27 名］	391 時間［389 時間］

イ 受入施設

区分	施設数
通所介護施設	18 施設
特別養護老人ホーム	15 施設
グループホーム	9 施設
介護老人保健施設	8 施設
短期入所施設	2 施設
小規模多機能型居宅介護施設	2 施設
介護付有料老人ホーム	1 施設
合計	55 施設

(2) 研修・交流会

期日	内容
R5.1.27、2.3	● よい聴き手となるために　参加者：3 名
R5.3.9	● マットス体験会　参加者：17 名

(3) 交付申請の受付

上限額	申請者数	申請総額
1 名あたり 10,000 円	5 名［2 名］	27,000 円［20,000 円］

14 茎崎地域包括支援センター事業（市受託）	40,995,000 39,795,416

茎崎圏域の地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上や福祉の増進を包括的に支援した。

● 実施体制
所長（兼）社会福祉士：1 名、社会福祉士：1 名
経験のある看護師：1 名、主任介護支援専門員：1 名
介護予防マネジメント従事者：1 名

(1) 総合相談支援業務
茎崎圏域の地域住民に関する様々な相談を受けて、必要な状況把握を行い、各種情報提供や関係機関を紹介するとともに、各種制度やサービスへのつなぎ等必要な支援を行った。
相談件数　1,420 件［2,377 件］
※令和 4 年度実績報告から統計方法を変更した。
（相談事例数のみを計上し、事例に対する対応は計上していない）

ア 実態把握
市が抽出し、依頼のあったケースについて、実態把握訪問を実施した。
訪問件数　13 件［41 件］

イ 権利擁護
高齢者虐待の疑いや消費者被害、成年後見制度の利用が望ましいケース、家族関係に課題のあるケースにおける各種支援を行った。
権利擁護相談件数　88 件［101 件］

(2) 指定介護予防支援事業
予防給付の対象となる要支援者が、適切に介護予防サービス等を利用できるように、介護予防ケアマネジメントを行なった。
請求件数：2,193 件［2,068 件］
※介護予防支援 1,281 件、介護予防マネジメント 912 件
※月平均 182 件（内、初回加算 89 件、委託連携加算 98 件）

【利用(請求)件数の推移】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	172	173	178	181	182	186	190	188	191	180	189	183	2,193

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント
圏域内のケアマネジャーをはじめ、各種専門職に地域ケア会議への参加を案内し、地域や関係機関へ必要な情報提供及び共有を行なった。
介護支援専門員から延 179 件の相談

(4) 茎崎圏域ケア会議
6 回開催

(5) 個別相談業務
介護保険制度全般から一般的な問い合わせ等、地域の社会資源とのつなぎ支援等、圏域に関係なく相談に対応し、適切に紹介等をした。
個別相談416件（内、同行訪問42件）

(6) 困難事例等への指導・助言
支援会議に参加し、役割分担や今後の支援方針の検討を行った。
（介護支援専門員がいない事例3回、介護支援専門員がいる事例10回）

(7) 包括的支援事業（社会保障充実分）

ア 在宅医療・介護連携推進事業
市が開催する在宅医療・介護連携推進事業に参加し、支援の方針を学んだ他、関連機関との情報交換等を行った。個別支援を通じて地域の医療

機関と連携した。

イ 生活支援体制整備事業

第1層協議体へ参加し、市全体の状況を把握するとともに、第2層協議体(地域支えあい会議)に参加し、地域への情報発信と情報収集及び地域関係者との交流を行った。また、生活支援コーディネーターと地域の課題を随時共有しながら、個別支援に繋げた。

期日	会議名	内容
R 4.5.9、7.15、10.20、12.15 R 5.3.3	つくば市地域ケア会議及び生活支援体制整備推進会議	地域ケア会議及び第1層協議体会議
R 4.5.26、11.18、R5.3.22	地域支えあい会議	2層協議体(茎崎圏域)会議

(8) 認知症総合支援事業

認知症声かけ模擬訓練やキャラバンメイトの役員会等に参加した。認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方と本人を支える仕組みづくりを市とともに検討している。認知症カフェ(オレンジカフェinくきざき)に参加し、個別支援の際にはオレンジカフェに参加を促すなど協力に努めた。

(9) 地域ケア会議推進事業

地域ケア会議(圏域別ケア会議)を開催した。市が選定した事例について、自立支援型個別ケア会議に参加し、専門職からの助言をいただきながら、社会資源の紹介とケアマネジャー支援を行った。

期日	会議名	内容
R4.5.30、7.29、9.20、11.21、2.27、3.20(オンライン4回、参集2回)	茎崎圏域ケア会議	延 112 名の参加 事例検討
R4.7.22、8.26、2.24	自立支援ケア会議	

(10)会議研修等参加状況

会議研修に参加し、関係機関との関係づくりや質の向上に努めた。

15 つくばこどもの青い羽根学習会（市協働）

3,702,000
3,687,144

市内の生活困窮世帯等の児童・生徒を対象として、ボランティアの協力を得ながら週 2 回学習支援教室を開催した。

● 期日：（月曜日）17:00～19:30 /（木曜日）17:30～20:00

ア 学習支援教室「つくばこどもの青い羽根学習会 筑穂教室」

（ア）登録者

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
人数	1 名 [0]	1 名 [0]	2 名 [0]	0 名 [2 名]	3 名 [2 名]	2 名 [3 名]

学年	7 年	8 年	9 年	高 1	高 2	高 3	合計
人数	3 名 [3 名]	4 名 [5 名]	7 名 [8 名]	3 名 [0]	1 名 [0]	1 名 [0]	28 名 [23 名]

（イ）学習支援ボランティア：13 名

（ウ）開催実績：96 回［93 回］

対象者	学習支援ボランティア	参加者合計
延べ 954 名［774 名］	延べ 921 名［626 名］	延べ 1,875［1,400 名］

イ 交流会（季節イベント）

回数	内容
4 回	七夕交流会、ハロウィン交流会、クリスマス会、ボードゲーム

16 つくば市成年後見制度推進事業（市受託）　12,368,000　11,769,610

老人福祉法や介護保険法、障害者総合支援法及び成年後見制度利用促進法等の関係法令に基づき、成年後見制度の推進を図った。

ア 実施体制

専門員：3 名（所長 1 名、専門員 2 名、社会福祉士）

イ 中核機関業務

つくば市における保健・医療・福祉・司法による地域権利擁護の枠組みである地域連携ネットワーク（運営委員会及び利用支援会議等）の中核機関として次の業務を実施した。

(1) 成年後見制度利用支援業務

相談件数

区分	電話	訪問	来所	その他	合計
延べ件数	983 件 ［628 件］	93 件 ［66 件］	94 件 ［87 件］	130 件 ［46 件］	1,300 件 ［827 件］

相談者属性

区分	本人	家族	知人	民生委員	関係機関	後見人	その他	合計
延べ件数	307 件 ［139 件］	199 件 ［175 件］	4 件 ［1 件］	4 件 ［2 件］	739 件 ［445 件］	12 件 ［12 件］	35 件 ［53 件］	1300 件 ［827 件］

● 相談内容

区　分		高齢者	障害者	その他※	小　計
法定後見	相　談	204 件［272 件］	161 件［118 件］	12 件	377 件［390 件］
	利用支援	183 件［105 件］	151 件［ 32 件］	12 件	346 件［137 件］
任意後見	相　談	85 件［ 52 件］	1 件［14 件］	8 件	94 件［66 件］
	利用支援	8 件［159 件］	0 件［0 件］	0 件	8 件［159 件］
他制度	相　談	14 件［6 件］	17 件［1 件］	27 件	58 件［7 件］
法人後見	相　談	75 件［6 件］	48 件［2 件］	29 件	152 件［8 件］
	利用支援	224 件［39 件］	18 件［0 件］	0 件	242 件［39 件］
後見受任後調整		7 件［19 件］	16 件［2 件］	0 件	23 件［21 件］
合　計		800 件［658 件］	412 件［169 件］	88 件	1,300 件［827 件］

※「その他」は令和 4 年度から集計→相談時に利用者区分が確定していない方

(2) 成年後見制度啓発業務

ア 研修会等の開催

成年後見制度テーマ別講座「終活と成年後見制度」(会場：ボランティアセンター)

参加者／集合 38 名、オンデマンド配信視聴者 63 名

日時	参加者	内容
第１回　R4.11.7	6 名 ［11 名］	終活とは～自分らしい生き方のために～ 講師／相続診断士、終活カウンセラー
第２回　R4.11.10	8 名 ［9 名］	今どきの葬儀事情 講師／セレモニーセンター職員、弁護士
第３回　R4.11.14	7 名 ［14 名］	任意後見契約と任意契約について 講師／弁護士
第４回　R4.11.15	7 名 ［15 名］	金融資産と成年後見制度 講師／金融機関職員

第５回　R4.11.16	10 名 ［14 名］	遺言について学ぶ 講師／司法書士

※参加者()内はオンデマンド配信視聴者数

イ 成年後見制度入門講座

生活に身近な会場で成年後見制度利用の概要をわかりやすく説明した。

参加者:36 名

日時･会場	参加者	内容
第 1 回 R4.10.12 市民研修センターホール	6 名	法定後見制度と任意後見制度について 後見人の業務について 申立時の注意点について つくば成年後見センターの活動について 質疑応答
第 2 回 R4.10.17 市役所２階会議室	13 名	
第 3 回 R4.10.19 茎崎交流センター研修室	8 名	
第 4 回 R4.10.20 市民ホールやたべ小会議室	6 名	
第 5 回 R4.10.21 老人福祉センターとよさとホール	3 名	

ウ 研修会等への参加・説明

● 地域包括支援センター定例会

日時･会場	出席者	内容
R4.12.21 市役所	地域包括支援課3 名 地域包括支援ｾﾝﾀｰ7 名	つくば成年後見センター事業説明 質疑応答

地域福祉出前講座(社協受託)

日時･会場	行事名･出席者	内　容
R4.7.13 市民ホールとよさと	豊里･桜地区シルバー教室　100 名	･つくば成年後見センター事業説明 ･意見交換･質疑応答
R4.7.13 市役所会議室	谷田部地区民生委員児童委員協議会定例会 70 名	･あんしん生活支援サービスについて ･意見交換･質疑応答
R5.1.16 市内 ※再掲	サロンゆうゆう 15 名	･成年後見制度と任意後見制度について ･「実践報告」法人後見活動について ･意見交換･質疑応答

(3) 成年後見人等の受任者調整業務

ア つくば市成年後見制度利用支援会議

成年後見人等候補者を家庭裁判所に推薦する等の制度利用支援活動を行う会議体をつくば市社会福祉協議会内に設置した。

委　員／8 名（弁護士、司法書士、医師、学識経験者、行政職員、社協職員）

開催回数／5 回（オンライン開催）

審議事案／件数、申立人、類型分類は次のとおり

() は成年後見人等候補者として家庭裁判所に推薦した者

申立人／類型	成年後見	保　佐	補　助	合　計
本　人	0 件	1 件 (社会福祉士または社会福祉協議会)	0 件	1 件
親　族	1 件 (社会福祉協議会)	1 件 (社会福祉協議会)	0 件	2 件

市　長	2件 (弁護士、社会福祉協議会)	0件	1件 (社会福祉士または社会福祉協議会)	3件
合　計	3件	2件	1件	6件

(4) 市民後見人養成及び支援業務

市民後見人養成講座修了者の活動の場として、つくば市社会福祉協議会が実施する法人後見業務の身上保護活動（特に「見守り」に特化した活動）に希望者が従事した。

・法人後見支援員としての活動／活動者６名、支援回数 79 回（延べ 107 時間）

・市民後見人養成講座修了者フォローアップ研修／年１回

日時･会場	内容
R4.12.2 ボランティアセンター	認知症の代表症状と身上保護について～認知症高齢者へのかかわりのポイント～

(5) 後見人支援業務

利用支援会議による候補者受任調整を経て、後見人が決定された事案について、後見人を中心として支援者によるチーム化及び後見活動フォローアップの事例検討会を開催した。

日時･会場	参加者	内容
R4.7.1 市役所1階会議室	成年後見人 介護支援専門員 通所介護施設職員 地域包括支援課職員 地域包括支援センター職員	・後見人選任後の関係機関職員の顔合わせと事例共有について ・本人略歴と健康状態、支援経過、支援課題
R4.10.11 オンライン	成年後見人 介護支援専門員 地域包括支援課職員	キーパーソンの知人が参加する見守り支援のための要点整理
R4.10.19 市役所１階会議室	成年後見人 キーパーソンの知人 介護支援専門員 通所介護施設職員 地域包括支援課職員	本人支援会議 ・現状確認について ・役割分担、支援方針の再確認について

(6) 地域連携ネットワークの構築業務

つくば市成年後見制度推進事業運営委員会の共同開催（年２回）

日時･会場	内　容
第１回　R4.8.2 市役所２階会議室・ｵﾝﾗｲﾝ	つくば市成年後見制度利用促進基本計画の進捗について つくば成年後見センター業務報告
第２回　R5.1.27 消防庁舎３階・ｵﾝﾗｲﾝ	令和４年度事業報告、令和５年度事業計画 第二期つくば市成年後見制度利用促進基本計画の策定について

(7) 法人後見業務

つくば市社会福祉協議会が成年後見人等に就任し、身上保護を中心とした活動を実施した。専門職による会議体である「法人後見受任審査会」設置し、受任の適否や後見等の活動について助言をいただいた。

ア 法人後見受任業務

- 法人後見受任審査会

委員／６名（弁護士、司法書士、医師、学識経験者、行政職員）

開催回数／５回（オンライン開催）

審議事案／つくば市成年後見制度利用支援会議による候補者推薦案件の他、本会の法人後見業務の申し込みに対して審議した。

● 法人後見受任状況
法定後見

区分	後見人	保佐人	補助人	合計
認知症	6件［5件］	1件［1件］	0件［0件］	7件［6件］
知的障害	2件［2件］	0件［0件］	0件［0件］	2件［2件］
精神障害	1件［0件］	1件［0件］	0件［0件］	2件［0件］
合計	9件［7件］	2件［1件］	0件［0件］	11件［8件］

● 任意後見
受任契約２件

イ 視察研修受け入れ、講師派遣

日時･会場	参加者	内容
R4.7.11 大穂庁舎相談室	小美玉市 社会福祉協議会 ３名	任意後見契約（あんしん生活支援サービス）の取組み経緯と現状について
R4.7.15 ｵﾝﾗｲﾝ	蒲郡市 社会福祉協議会 （愛知県）３名	法定後見受任及び任意後見契約（あんしん生活支援サービス）の取組み経緯と現状について
R4.9.15 大穂庁舎2階会議室	つくばみらい市 社会福祉協議会 ２名	つくば成年後見センター事業について （中核機関業務、法人後見業務）
R4.10.6 みもり園会議室	（社福）にいはり福祉会みもり園 ３名	法人後見について

● 令和４年度いわき市法人後見従事者研修

日時･会場	内　容
R4.12.21 オンライン	いわき市主催／参加者14名 ・実践報告「法人後見業務について」 ・質疑応答

ウ その他成年後見制度利用促進に関する業務
各種連携会議・研修会等への参加
法テラス茨城、リーガルサポートセンター茨城支部、水戸家庭裁判所、茨城県、茨城県社会福祉協議会、全国社会福祉協議会等が主催する連携会議や研修会に参加し、法人後見専門員のスキルアップに努めたほか、関係機関との連携方法を確認し、地域連携ネットワーク構築の基礎とした。

17 つくば市地域支援事業（市受託）

29,162,000
28,605,807

日常生活圏域において生活支援体制整備事業第2層協議体が設置された7圏域（筑波・大穂・豊里・茎崎・谷田部西・谷田部東・桜）ごとに生活支援コーディネーターを配置し、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進した。

（1）生活支援体制整備事業第2層協議体生活支援コーディネーター業務
ア 実施体制：各圏域生活支援コーディネーター：7名
イ 「地域支えあい会議」（第2層協議体）の開催

回数（7圏域）	内容
13回	多様な団体や人が参画し、情報交換、地域連携を図るための話し合いを行なった。

ウ 活動団体間のネットワークづくり

期日	内容
R4.12.15	食を通しての地域の見守り、交流に関わる団体を対象とした研修会・情報交換会 参加者：8 名

エ 広報

● （新規）Instagram の開設（R4.7 開設）

区分	フォロワー数
2 層生活支援コーディネーター Instagram	222

● 広報紙「ささえあいつくば」の発行（※社協通信つくばと同時発行）

区分	内容
第 8 号 R4.5.16、第 9 号 8.1 第 10 号 11.15、第 11 号 R5.2.15	7 圏域ごとの住民主体の活動内容を紹介　（1 号に付き 52,500 部発行）

● R4 版事業周知リーフレットの作成：1,500 部
● 事業周知用パネル資料の作成
● 生活支援コーディネーター活動紹介動画制作の協力（制作：茨城県社協）

オ コーディネーターのスキルの向上

本事業においての地域活動や各種会議等への同行、活動支援、会議のファシリテーション・運営スキルなどについて、地域福祉アドバイザーから指導を受けた。

カ 研修

令和 4 年度「生活支援体制整備事業基礎研修」、令和 4 年度「生活支援体制整備事業ブロック別研修会」、令和 4 年度「生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター連絡会議（Zoom）、いきがい・助け合いサミットin東京、生活支援コーディネーター連絡会議（Zoom）

キ 生活支援コーディネーターミーティングの開催（月 2 回実施）

ク 市との情報交換：第 1 層・第 2 層コーディネーターとの連携：15 回
認知症声掛け模擬訓練開催への協力

18 つくば市生活困窮者自立相談支援事業（市受託）

33,536,000
33,528,963

「生活・自立サポートセンター」を設置し、生活困窮者や生活保護受給者などに対して、自立・就労に向けた様々な支援サービスを総合的・一体的に提供することにより、その自立の促進を図った。

● 実施体制
所長１名、係長１名（兼務）、主任相談支援員１名、相談支援員１名
就労支援員１名

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

生活の困りごとや不安についての相談を支援員が受け、どのような支援が必要かを相談者と考え、具体的な支援プランを作成し寄り添いながら自立に向けた支援を行った。

相談件数

区分	来所	電話･メール	訪問	合計
延べ件数	1,534 件 [1,861 件]	2,601 件 [1,978 件]	89 件 [32 件]	4,244 件 [3,871 件]

ア　住居確保給付金
申請件数

種別	新規	延長	再延長	再々延長	再申請	合計
申請者	32 件 [74 件]	15 件 [47 件]	8 件 [40 件]	0 件 [16 件]	17 件 [46 件]	72 件 (223 件)

(2) 被保護者就労支援事業
被保護者で就労能力を有し就労意欲が高い方に対して、ハローワークと連携し就労相談を行った。
就労相談（ハローワークによる巡回相談）件数及び就職件数

区分	就労相談	就職
件数	126 件［136 件］	20 件［17 件］
生活保護の廃止につながった件数：4 件［6 件］		

(3) 就労準備支援事業・被保護者就労準備支援事業
「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に対し、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援を行なった。
ア 就労準備支援事業（生活困窮者に対する支援）

区分	相談件数	利用件数
件数	68 件［95 件］	5 件［3 件］

イ 被保護者就労準備支援事業
対象者との信頼関係づくりを中心に取り組み、週 1 回の定期訪問や連絡を取ることにより、支援の利用につながるよう努めた。
- 対象者：1 件（1 件）

ウ 新規：就労準備支援事業における拠点および居場所「さぽカフェ」
閉じこもりがちな方に対し、気軽に出向くことができる居場所の提供、定期的に外出する機会や他者との交流の機会を目的に実施。
開催状況：月１回　第４木曜日　開催時間：10：00～12：00
開催場所：老人福祉センターとよさと
開催回数：計３回/５名（３世帯）　※令和５年１月開所

(4) 家計改善支援・被保護者家計改善支援事業
家計から生活再建を考える世帯に対し、家計の見える化をするなど家計の状況を把握することや利用者の家計管理の意欲を高めるための支援を行なった。

区分	相談件数	利用件数
件数	129 件［29 件］	12 件［9 件］

被保護者家計改善支援事業　対象者　１件

(5)（新規）一時生活支援事業
茨城県が実施する、住居喪失者等へ一定期間衣食住等を提供する事業の対象者への相談支援を行なった。

区分	相談件数	利用件数
件数	161 件［0］	3 件［0］

19 つくば市新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	11,160,000 10,508,641
新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対して、就労による自立を図るため、またそれが困難な場合には円滑に生活保護の受給につなげるために、支援金支給を実施した。支給金額は、世帯人数により（月額）6 万円～10 万円。支給期間は 3 か月間。（R5.3.31 終了）	

支給申請件数

区分	相談件数	申請件数
件数	1,478 件	71 件［162 件］

指定管理者

1 つくば市市民研修センター管理経営（市指定管理）　28,723,000　26,244,611

市民の生涯学習の施設として、子どもから高齢者までの学習機会を提供するとともに、サークル活動等の場として利用者の交流や生きがい活動を支援した。
※新型コロナウイルス感染症対策のため、研修室の貸し出しは定員の 50%の制限を設けた。また、浴室は人数と時間に制限、5 人で 20 分とした。

(1)　施設の管理運営

ア　運営委員会の開催　委員：6 名

期日	内容
R4.12.16	・令和 3 年度事業報告及び決算報告について ・令和 4 年度事業計画及び収支予算書について ・令和 4 年度管理経営及び事業の進捗状況について
R5.2.21	・令和 4 年度管理運営及び事業の進捗状況について ・令和 5 年度事業計画及び収支予算（案）について ・第 13 回春まつりについて

イ　収入状況

区分	参加費収入（講座受講料等）	利用料収入（研修室･浴室利用料）	合計
金額	1,804,500 円 ［1,323,400 円］	320,910 円 ［267,040 円］	2,125,410 円 ［1,590,440 円］

(2)　研修室の貸出し

研修室４ヶ所（６室）を、「午前」「午後」「夜間」の単位で、市民や団体、企業へ貸出しを行なった。

区分	利用者数
集計	8,174 名［5,947 名］

(3)　講座の開講

ア　常設講座

講座	前期講座		後期講座	
	回数	受講者	回数	受講者
自力整体講座Ⅰ	全 8 回	14 名	全10回	18 名
自力整体講座Ⅱ	全 8 回	18 名	全10回	19 名
アビ先生と英語で遊ぼう	全 8 回	親子8組	全10回	親子11組
初心者のパソコン講座	全 8 回	17 名	全10回	20 名
週末のヨガ講座	全 8 回	20 名	全10回	19 名
木彫り仏像創作講座	全10回	20 名	全10回	20 名

イ　特別講座

講座	回数	受講者
スマホ・タブレレット講座	各 6 回	初級 7 名中級 17 名上級 10 名
季節の花寄せ植え講座	全 2 回	10 名
筑波山ガマの油売り口上講座	全 4 回	6 名
竹で編む花籠講座	全 1 回	10 名
己書講座	全 2 回	6 名

ウ 夏期講座・新春講座

講座	夏期講座		新春講座	
	回数	受講者	回数	受講者
自力整体講座Ⅰ	全10回	13名	全10回	15名
自力整体講座Ⅱ	全10回	17名	全10回	19名
アビ先生と英語で遊ぼう	全6回	親子8組	全10回	親子10組
初心者のパソコン講座	全10回	15名	全10回	16名
週末のヨガ講座	全10回	15名	全10回	18名

(4) イベントの開催

期日	イベント
R4.7.30	おもしろ理科実験教室　参加者15名 いろいろな実験を通して親子で交流した。
R4.8.6	コワナツ（怖い話を聞くタベ）参加者23名 語り部や演者の方によるお話会。
R4.10.29	利用団体合同発表会　参加者125名 利用団体が、日頃の練習の成果を発表した。
R5.3.15	利用団体懇談会 利用団体が参加しての懇談会
「春まつり」新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

(5) 浴室の営業（利用時間：13時から20時まで）

区分	利用者数
集計	13,418名［11,631名］

(6) 災害対応訓練・避難訓練の実施

実施日：R5.3.15

災害時にセンターを利用している市民の安全確保を図られるよう、利用団体も参加して、災害対応・避難訓練を実施した。

その他

車いす貸出し事業

介護保険制度を利用できない高齢者、障害者等で、けがや病気等により、一時的に車いすを必要とする方に対し、期間を設定して貸出しを行なった。

貸出し件数：93件［82件］